



2021年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月1日

上場会社名 象印マホービン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7965 URL <http://www.zojirushi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 市川 典男
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡本 茂久 (TEL) 06-6356-2368
 四半期報告書提出予定日 2021年4月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年11月期第1四半期の連結業績(2020年11月21日～2021年2月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第1四半期	24,698	2.0	3,646	28.9	3,590	15.4	2,394	15.4
2020年11月期第1四半期	24,203	△4.6	2,828	△7.8	3,112	△0.4	2,075	△2.9

(注) 包括利益 2021年11月期第1四半期 2,851百万円(13.6%) 2020年11月期第1四半期 2,510百万円(65.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第1四半期	35.42	—
2020年11月期第1四半期	30.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第1四半期	98,470	74,889	75.4
2020年11月期	97,019	72,917	74.5

(参考) 自己資本 2021年11月期第1四半期 74,262百万円 2020年11月期 72,317百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2021年11月期	—	—	—	—	—
2021年11月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年11月期の連結業績予想(2020年11月21日～2021年11月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,000	3.0	3,200	2.5	3,200	3.0	2,200	8.2	32.54
通期	76,000	1.4	5,700	4.8	5,800	1.3	4,000	1.4	59.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年11月期1Q	72,600,000株	2020年11月期	72,600,000株
② 期末自己株式数	2021年11月期1Q	4,987,621株	2020年11月期	4,987,621株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年11月期1Q	67,612,379株	2020年11月期1Q	67,603,122株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大ペースが再加速したことにより、世界経済の回復ペースは鈍化いたしました。感染拡大の抑制に成功した中国ではコロナ前のGDP水準に回復し拡大基調を続けていますが、欧米をはじめ日本においては外出行動や経済活動が再び制限されるなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の中で、当社グループは2020年11月21日より、新しい日常における新たな中期2ヵ年計画『ADAPT Phase II』をスタートし、象印ブランドを現状の家庭用品ブランドから「食」と「暮らし」のソリューションブランドへ進化させるため、「領域の水平的拡大」、「領域の垂直的拡大」、「経営基盤の強化」に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年実績から494百万円増加し24,698百万円（前年同期比2.0%増）となりました。製品区分別ではリビング製品は前年を下回りましたが、調理家電製品や生活家電製品は順調に推移しました。連結全体の国内売上高は15,049百万円（前年同期比1.0%増）、海外売上高は9,649百万円（同3.8%増）となり、海外売上高構成比は39.1%となりました。海外では台湾の売上は減少しましたが、北米や中国、東南アジアでは前年実績を上回りました。

利益については、売上高の増加や原価の低減、販売費及び一般管理費の抑制により、営業利益は3,646百万円（前年同期比28.9%増）となりました。経常利益は3,590百万円（同15.4%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,394百万円（同15.4%増）となりました。

製品区分別の業績は次のとおりであります。

①調理家電製品

調理家電製品の売上高は、17,979百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

国内では、炊飯ジャーは、かまどの炎のゆらぎを再現した最高級モデルの圧力IH炊飯ジャー「炎舞炊き」シリーズは好調に推移しましたが、普及価格帯の炊飯ジャーが苦戦したことにより全体としては前年を下回りました。電気ポットは市場の縮小傾向もあり低調に推移しました。電気調理器具では、緊急事態宣言の再発令に伴う外出自粛により、巣ごもり消費で需要の高いホットプレートやオーブントースターなどの売上が伸長し、電気調理器具全体は好調に推移しました。

海外では、炊飯ジャーや電気ポット、電気調理器具は、北米市場と中国市場、東南アジア市場で好調に推移しました。特に北米市場では、巣ごもり消費による調理家電製品が好調に推移しました。

②リビング製品

リビング製品の売上高は、5,071百万円（前年同期比17.7%減）となりました。

新型コロナウイルス感染症による外出自粛のため、レジャーやスポーツ活動が引き続き制限されたことにより、国内、海外ともにステンレスボトルやステンレスフードジャーなどのステンレス製品が前年を下回りました。

国内ではインバウンド需要の大幅減少による市場全体の出荷数量の落ち込みもあり、主力のステンレスマグが低調に推移しましたが、昨年9月に発売した業界初となる“せん”と“パッキン”がひとつになった「シームレスせん」を採用したステンレスマグSM-Z型が好調に推移し、売上高は回復傾向にあります。

海外のステンレスボトルは、主力の中国市場をはじめ多くの市場で低調に推移しました。

③生活家電製品

生活家電製品の売上高は、1,172百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

国内では、加湿器は需要増に供給が追いつかず売上が減少しましたが、衛生志向の高まりによりふとん乾燥機、空気清浄機、食器乾燥器が好調に推移し前年実績を上回りました。

④その他製品

その他製品の売上高は、476百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

・地域別製品区分別売上高

(単位：百万円)

		日本	海外				計	合計	前年同期比 (%)
			アジア		北米	その他			
			内、中国						
売上高	調理家電	12,094	3,695	1,616	2,182	6	5,884	17,979	9.4
	リビング	1,483	3,105	2,105	352	129	3,588	5,071	△17.7
	生活家電	1,146	25	—	—	—	25	1,172	6.4
	その他	325	103	24	47	0	151	476	△5.5
		15,049	6,929	3,746	2,583	136	9,649	24,698	2.0
構成比 (%)		60.9	28.1	15.2	10.5	0.6	39.1	100.0	—

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が1,451百万円増加し、負債が520百万円減少しました。また、純資産は1,972百万円増加いたしました。その結果、自己資本比率は0.9ポイント増加し75.4%となりました。

総資産の増加1,451百万円は、流動資産の増加1,257百万円及び固定資産の増加194百万円によるものであります。

流動資産の増加1,257百万円の主なものは、現金及び預金の増加1,995百万円、受取手形及び売掛金の増加2,894百万円、電子記録債権の増加404百万円、有価証券の減少400百万円、商品及び製品の減少2,993百万円、原材料及び貯蔵品の増加214百万円、その他流動資産の減少832百万円であります。また、固定資産の増加194百万円の主なものは、工具、器具及び備品の減少130百万円、ソフトウェアの減少108百万円、投資有価証券の増加424百万円、繰延税金資産の減少134百万円、退職給付に係る資産の増加154百万円であります。

負債の減少520百万円は、流動負債の増加477百万円及び固定負債の減少998百万円によるものであります。

流動負債の増加477百万円の主なものは、支払手形及び買掛金の減少938百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加1,500百万円、未払費用の増加814百万円、未払法人税等の減少451百万円、賞与引当金の減少607百万円、その他流動負債の増加165百万円であります。また、固定負債の減少998百万円の主なものは、長期借入金の減少1,500百万円、繰延税金負債の増加561百万円であります。

純資産の増加1,972百万円の主なものは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上2,394百万円、剰余金の配当の支払878百万円、その他有価証券評価差額金の増加284百万円、為替換算調整勘定の増加139百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるステンレスボトルの売上減はあるものの、巣ごもり消費の拡大によってホットプレートやオーブントースターなどの電気調理器具が好調に推移し、衛生志向の高まりによって生活家電製品も売上が伸長するなど、全体としては堅調に推移いたしました。

2021年11月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の動向が引き続き不透明であることも勘案し、2020年12月25日に公表いたしました業績予想を据え置いております。

なお、上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,391	36,387
受取手形及び売掛金	11,720	14,615
電子記録債権	1,575	1,979
有価証券	400	-
商品及び製品	19,994	17,001
仕掛品	268	253
原材料及び貯蔵品	2,053	2,267
その他	3,258	2,425
貸倒引当金	△7	△18
流動資産合計	73,654	74,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,774	12,795
減価償却累計額	△10,133	△10,175
建物及び構築物(純額)	2,640	2,620
機械装置及び運搬具	3,662	3,644
減価償却累計額	△3,257	△3,253
機械装置及び運搬具(純額)	404	390
工具、器具及び備品	9,441	9,432
減価償却累計額	△7,687	△7,808
工具、器具及び備品(純額)	1,753	1,623
土地	7,429	7,428
リース資産	949	976
減価償却累計額	△334	△421
リース資産(純額)	615	554
建設仮勘定	3	68
有形固定資産合計	12,848	12,686
無形固定資産		
ソフトウェア	774	666
その他	121	142
無形固定資産合計	896	809
投資その他の資産		
投資有価証券	6,565	6,990
繰延税金資産	617	483
退職給付に係る資産	2,150	2,305
その他	294	293
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	9,620	10,063
固定資産合計	23,364	23,559
資産合計	97,019	98,470

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年2月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,967	8,028
1年内返済予定の長期借入金	-	1,500
リース債務	335	325
未払費用	5,832	6,646
未払法人税等	1,039	587
賞与引当金	1,129	522
製品保証引当金	179	184
その他	897	1,062
流動負債合計	18,381	18,859
固定負債		
長期借入金	1,500	-
リース債務	271	225
繰延税金負債	770	1,332
退職給付に係る負債	2,853	2,837
その他	324	325
固定負債合計	5,720	4,722
負債合計	24,102	23,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,022	4,022
資本剰余金	4,214	4,214
利益剰余金	63,474	64,990
自己株式	△965	△965
株主資本合計	70,746	72,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,913	2,197
為替換算調整勘定	129	268
退職給付に係る調整累計額	△471	△465
その他の包括利益累計額合計	1,570	1,999
非支配株主持分	599	627
純資産合計	72,917	74,889
負債純資産合計	97,019	98,470

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月21日 至 2020年2月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月21日 至 2021年2月20日)
売上高	24,203	24,698
売上原価	15,898	15,718
売上総利益	8,305	8,980
販売費及び一般管理費	5,476	5,333
営業利益	2,828	3,646
営業外収益		
受取利息	23	11
受取配当金	34	33
仕入割引	8	10
持分法による投資利益	145	-
受取ロイヤリティー	12	8
受取賃貸料	28	24
為替差益	164	78
その他	14	13
営業外収益合計	431	179
営業外費用		
支払利息	5	7
売上割引	133	116
持分法による投資損失	-	102
その他	8	9
営業外費用合計	147	235
経常利益	3,112	3,590
特別利益		
固定資産売却益	-	2
投資有価証券売却益	-	3
特別利益合計	-	6
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	12	1
情報セキュリティ対策費	31	-
特別損失合計	44	1
税金等調整前四半期純利益	3,068	3,595
法人税、住民税及び事業税	577	605
法人税等調整額	381	567
法人税等合計	958	1,172
四半期純利益	2,110	2,422
非支配株主に帰属する四半期純利益	34	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,075	2,394

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月21日 至 2020年2月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月21日 至 2021年2月20日)
四半期純利益	2,110	2,422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	284
為替換算調整勘定	379	89
退職給付に係る調整額	5	6
持分法適用会社に対する持分相当額	53	49
その他の包括利益合計	400	429
四半期包括利益	2,510	2,851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,468	2,824
非支配株主に係る四半期包括利益	42	27

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。